大会宣言（案）

われわれ交通労連は第 60 回年次大会を開催し、運動方針を補強する 2023 年度の活動方針等を決定した。

社会を一変させたコロナ禍、さらにはロシアによるウクライナへの侵略等の影響も加わり、 取り巻く環境は非常に不安定で先行きが全く見通せない状況が続いている。長期化する問題はわれわれが働く産業、そして多くの働く仲間とその家族に深刻な影響を与え、より弱い立場にある仲間ほど一層困難な状況に置かれている。また、わが国では貧困と格差、加速する人口減少・超少子高齢化、脆弱な社会セーフティーネットなど、社会経済の持続性に関わる課題も山積している。同時に、コロナ禍の中で「新しい生活様式の確立」や「働き方改革への対応」など、労働環境はもとより生活環境も大きく変化する中で、組合員の命と生活を守り抜き、この厳しい状況をなんとしても打開するために各級議員や関係各所との連携をさらに強めるなど、われわれが求める産業政策の実現に向けた取り組みを一層強化していかなければならない。

一方で組織人員は年々減少してきており、今の減少傾向がこのまま続けば組織・財政の両面で非常に厳しい状況となるのは火を見るよりも明らかである。昨年度、「労連の新たな進路見直し検討委員会」を立ち上げ、加盟組合にとって魅力ある産別としてあり続けるための運動のあり方や組織体制等について幅広の議論を開始した。今後は、検討委員会での議論も踏まえた「組織の強化・拡大」の取り組み強化とあわせ、将来に向けた改革を実行していく必要がある。そのことによって、加盟組合にとって魅力と頼りがいのある産別の実現をめざす。

われわれは「自由にして民主的な労働運動」を堅持し、本大会で決定した方針に基づく諸活動を全加盟組織が一丸となって取り組むことで力強い運動を展開していく。

以上、宣言する。

2022 年 9 月 13 日

交通労連
第 60 回年次大会